

令和 6 年 度

〔 自 令和 6 年 4 月 1 日 〕
〔 至 令和 7 年 3 月 31 日 〕

業 務 報 告 書

島根県農業共済組合

事業報告書

令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（１）農作物共済関係

（引 受）

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
6 年産	水稻	人 12,612	a 900,269.1	円 6,673,184,770	円 12,440,606	円 9,897,143	円 22,337,749
		23	11,577.6	22,998,448	879,043	445,944	1,324,987
	計	延 12,635	911,846.7	6,696,183,218	13,319,649	10,343,087	23,662,736
		実 12,524					
7 年産	麦	21	7,388.5	19,560,242	168,940	93,352	262,292

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

○水稻

組合員数は実人数 12,501 人で、昨年から 901 人減少した（対前年比 93.3％）。引受面積は 649.0ha 減少した（同 93.3％）。水稻 1 類（主食用米）、2 類（飼料用米）、3 類（米粉用米）の引受があり、内訳は主食用米が 8,819.7ha で 583.5ha の減、飼料用米は 179.4ha で 67.7ha の減、米粉用米は 3.6ha で 2.2ha の増であった。

収入保険加入者の水稻作付面積は 6,257.1ha であるため、農業保険（収入保険＋農業共済）の補償対象となる水稻は、全作付面積の 92.5％であった。

○麦(令和7年産)

組合員数は 2 人減少し（対前年比 91.3％）、引受面積も 41.9ha 減少した（同 63.8％）。加入の内訳は、半相殺方式・8 割補償 1 人、全相殺方式・9 割補償 20 人であった。なお、麦共済加入申込書提出後に収入保険への移行による共済関係の解除はなかった。

(被 害)

共済目的	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
水稻	人 487	円 36,786,133	% 0.55
麦	17	3,062,136	13.31
計	延 504	39,848,269	0.60

【被害の状況】

○水稻

イノシシを主体とし、シカ、ヌートリア、サルなどの獣害が県下全域で発生した。半相殺方式では、被害面積全体の 57.9%、減収量の 60.6%と大半を占めた。

夏季の酷暑による水不足が発生した。一部では春季の干害が発生し、移植不能が発生した。

大雨により、倒伏が県下全域で発生した。一部では浸潮害が発生した。

カメムシ類による吸汁害や不稔が発生した。トビイロウンカによる坪枯れが発生した。

カモやスズメによる食害が発生した。いもち病が発生した。

対前年比、被害組合員数 96.8%、共済金 101.8%であった。

○麦

播種後から 3～4 月まで、暖冬多雨の気候が続き土壌湿潤害を助長させる環境が続いた。県下で生育不良が発生した。

対前年比、被害組合員数 170.0%、共済金 293.5%となり前年を大きく上回った。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
水稲	12 月 20 日	円	円	円	円	円	円	%
	2 月 21 日	36,786,133		22,337,749			0	100.0
	3 月 28 日							
麦	9 月 27 日	3,062,136		1,324,987			0	100.0
計		39,848,269	0	23,662,736	16,185,533	0	0	100.0

(損害防止)

- ・ 獣害対策事業として、電気牧柵等の侵入防止設備や捕獲設備の設置等に対する一部助成やセンサーカメラの貸与事業を行った。
有害獣侵入防止助成金 206 件 3,048,548 円。捕獲檻・わな購入助成事業 16 件 218,839 円。センサーカメラ貸与事業 5 件
- ・ 「土づくり」と「健全な稲づくり」に資するために土壌診断を実施し、農家の「土づくり」意識の向上を図った。令和 7 年 1 月実施 15 戸 50 圃場
- ・ 病虫害防除事業として、無人ヘリコプター等による病虫害防除の取りまとめを行った。
- ・ 予察情報の早期伝達による適期防除と被害の軽減を図るため、病虫害の発生予察を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分 \ 項目		有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引 受 頭 数 事業計画頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	納 入 保険料	交付金	手 持 共済掛金
死亡 廃用 共済		頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円
	搾乳牛	11,052	8,971	8,918	99.4	2,356,075	70,704,038			
	育成乳牛 (子牛等)	3,543	3,283	2,995	91.2	652,828	3,309,033			
	繁殖用雌牛	10,064	10,022	9,489	94.7	3,569,623	23,881,670			
	育成・肥育牛 (子牛等)	44,904	42,995	42,284	98.3	14,316,161	141,150,272			
	繁殖用雌馬	43	31	29	93.5	10,759	325,820			
	育成・肥育馬	29	29	29	100.0	14,725	700,431			
	種豚	3,194	3,194	3,175	99.4	118,201	19,441			
	肉豚	21,948	21,948	21,169	96.5	220,158	26,494,882			
	種雄牛	16	16	11	68.8	4,557	108,886			
	種雄馬	5	4	4	100.0	3,612	165,278			
	計	94,798	90,493	88,103	97.4	21,266,699	266,859,751			
疾病 傷害 共済	乳用牛	10,436	10,423	10,335	99.2	375,469	61,572,009			
	肉用牛	32,341	30,491	30,407	99.7	1,009,631	163,816,373			
	一般馬	61	49	49	100.0	1,530	24,084			
	種豚	3,194	0	0	0	0	0			
	種雄牛	16	16	11	68.8	463	21,987			
	種雄馬	5	4	4	100.0	113	31,375			
	計	46,053	40,983	40,806	99.6	1,387,206	225,465,828			
合計		140,851	131,476	128,909	98.0	22,653,905	492,325,579		480,374,331	972,699,910

注) 期末調整による過年度引受分徴収掛金 6,375,453 円は上記徴収共済掛金に含まない。

【引受の概要】

○死亡廃用共済

死亡廃用共済について、事業計画に比較し乳用牛 341 頭減少、肉用牛 1,244 頭減少、豚 798 頭減少で、全畜種で 2,390 頭減少の事業計画を下回る引受であった。前年度に比較し乳用牛 462 頭減少、肉用牛 1,730 頭減少、豚 715 頭減少した。共済金額は乳用牛 5 億 5,207 万円減少、肉用牛 23 億 9,944 万円減少、豚 3,994 万円増加した。飼養頭数の減少により、全畜種で 2,915 頭減少、共済金額 29 億 1,733 万円減少の引受であった。

○疾病傷害共済

疾病傷害共済について、事業計画に比較し乳用牛 88 頭減少、肉用牛 84 頭減少で、全畜種で 177 頭減少の事業計画を下回る引受であった。前年度に比較し乳用牛 212 頭減少、肉用牛 775 頭減少した。共済金額は乳用牛 2,971 万円減少、肉用牛 8,462 万円減少した。飼養頭数の減少により、全畜種で 993 頭減少、共済金額 1 億 1,459 万円減少の引受であった。

(事 故)

区分 \ 項目	死 亡 廃 用 共 済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾乳牛	441	193	634	146,983,716
育成乳牛 (子牛等)	118	1	119	7,494,950
繁殖用雌牛	134	53	187	52,411,353
育成・肥育牛 (子牛等)	1,241	111	1,352	213,168,334
繁殖用雌馬	4	1	5	1,556,700
育成・肥育馬	1	0	1	1,383,200
種豚	672	0	672	26,660,800
肉豚	5,468	0	5,468	51,189,843
種雄牛	0	0	0	0
種雄馬	0	0	0	0
計	8,079	359	8,438	500,848,896

注) 期末調整による過年度分支払共済金 906,009 円は含まない。

区分 \ 項目	疾病傷害共済	
	件数	支払共済金
	件	円
乳用牛	19,655	158,886,099
肉用牛	66,355	354,569,628
一般馬	6	55,332
種豚	0	0
種雄牛	7	26,730
種雄馬	0	0
計	86,023	513,537,789

【事故発生の概要】

○死亡廃用事故

前年度に比較し、事故頭数は乳用牛 40 頭減少、肉用牛 96 頭減少したが、豚は豚舎火災で 2,529 頭増加し、支払共済金は乳用牛 4,123 万円減少、肉用牛 1 億 746 万円減少、豚 4,613 万円増加した。事故頭数は豚の豚舎火災で大きく増加したが、支払共済金は牛の事故の減少が大きく影響し、全畜種で 2,396 頭増加、支払共済金 1 億 129 万円減少した。

○疾病傷害事故

前年度に比較し、乳用牛 199 件増加、肉用牛 4,343 件減少した。支払共済金は乳用牛 227 万円増加し、肉用牛 1,286 万円減少した。乳用牛の事故の増加があったものの、肉用牛の事故が減少し、全畜種で 4,149 件減少、支払共済金 1,063 万円減少した。

(損害防止)

実 施 種 目		対象頭数又は回数	経 費	摘 要
特定損害防止		頭 (回) 1, 429	円 14, 260, 248	乳牛（周産期疾患・乳房炎・運動器疾患）、肉用牛（繁殖障害・呼吸器疾患、新生子異常）
一般損害防止	健 康 検 査	424	837, 800	血液検査による代謝プロファイルテスト
	予 防 衛 生 措 置	42, 369	51, 236, 320	肝蛭・コクシジウムの駆虫、磁石の投与、ワクチン接種など
	飼 養 管 理 指 導	3, 257	5, 212, 216	ビタミン剤・ミネラル剤の投与指示
	講 習 会 、 講 話 会	—	—	
計		47, 479	71, 546, 584	

【損害防止の概要】

家畜の事故防止を図るため、血液検査や乳汁の細菌検査等の損害防止事業を実施した。

特定損害防止事業の国からの交付金は 8, 485 千円であった。

(診療所)

診療所名	獣医師数	管 内		診療件数		損害防止事業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費	
	人	頭	頭	頭	頭	頭 (回)	頭	円	
東部家畜診療所	9 (7)	5, 346	5, 293	5, 817	5, 126	9, 372	122	14, 320, 956	
雲南家畜診療所	10 (6)	8, 866	6, 589	11, 880	7, 337	15, 078	384	23, 480, 599	
出雲家畜診療所	9 (5)	5, 251	5, 054	9, 720	5, 531	9, 929	432	16, 274, 688	
石見家畜診療所	8 (4)	13, 363	10, 849	15, 170	6, 300	10, 350	480	15, 237, 932	
石西家畜診療所	13 (12)	13, 227	13, 021	41, 481	613	1, 321	11	2, 232, 409	
計	49 (34)	46, 053	40, 806	84, 068	24, 907	46, 050	1, 429	71, 546, 584	

獣医師数は、嘱託獣医師含む。（ ）内は嘱託獣医師数。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
5	ぶどう	人 119	a 2,922.7	円 206,657,000	円 1,652,526	円 1,569,926	円 3,222,452
	か き	44	1,484.3	25,433,000	420,391	302,825	723,216
	く り	7	327.0	497,000	15,840	9,463	25,303
	樹体(ぶどう)	18	1,377.1	219,219,000	1,315,244	1,226,893	2,542,137
	計	188	6,111.1	451,806,000	3,404,001	3,109,107	6,513,108
6	ぶどう	99	2,447.4	187,717,000	1,422,914	1,326,287	2,749,201
	か き	34	922.9	20,758,000	355,522	251,700	607,222
	く り	5	265.0	269,000	12,952	7,736	20,688
	樹体(ぶどう)	17	1,290.7	219,077,000	1,282,934	1,196,907	2,479,841
	計	155	4,926.0	427,821,000	3,074,322	2,782,630	5,856,952

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

○ぶどう

高齢化に伴う廃業と収入保険への移行により組合員数は20人減少(対前年比83.2%)、面積は475.3a減少した(対前年比83.7%)。

○かき

高齢化に伴う廃業により、組合員数は10人減少(対前年比77.3%)、面積は561.4a減少した(同62.2%)。

○くり

高齢化に伴う廃業により、組合員数は2人減少(対前年比71.4%)、面積は62.0a減少した(同81.0%)。

○樹体(ぶどう)

組合員数は1人減少(対前年比94.4%)、面積は86.4a減少した(同93.7%)。

(被 害)

果樹区分	被害組合員数	共 済 金	<u>共 済 金</u> 共済金額
	人	円	%
ぶどう	5	1,232,570	0.60
か き	8	938,120	3.69
く り	1	42,280	8.51
樹体(ぶどう)	15	3,403,213	1.55
計	29	5,616,183	1.24

【被害の状況】

○ぶどう

7月上旬の大雨により圃場が冠水し、雨害湿潤害（裂果）の被害を受けた。
暖冬の影響で早めに芽が動き、その後の低温で枯死し、発芽不良が発生した。
鳥による食害を受けた。

○かき

夏場の高温で樹勢が弱り、9月の降雨で落葉病、黒星病が発生し、樹上軟果や落果の被害を受けた。
日焼果が多く発生した。
水不足による干害を受け収穫量が減少した。
カメムシ類による食害が発生した。

○くり

夏場の高温で8月中旬より水不足になり樹が枯れ、生育も悪く小粒、しわ栗が発生し減収となった。

○樹体(ぶどう)

5年6月下旬から7月上旬の大雨、5年8月と10月の干ばつ・少雨、8月の高温、6月の日照不足等により、樹勢が低下し白紋羽病に罹患したため、デラウェア・巨峰・マスカットベリーA・シャインマスカットの樹木が枯死した。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
ぶどう	12 月 20 日	円 1,232,570	円	円	円	円	円	% 100.0
か き	3 月 28 日	938,120					0	100.0
く り		42,280					0	100.0
樹体(ぶどう)	8 月 9 日	3,403,213					0	100.0
計		5,616,183	0	5,616,183	0	0	0	100.0

(損害防止)

- ・果樹共済（ぶどう） 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和6年9月 79戸 217園地
- ・果樹共済（かき） 土壌診断事業を実施した。実施内容 令和7年1月 5戸 12園地

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項目 畑作物区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
6 年 度	大 豆	人 23	a 5,083.6	円 13,838,021	円 341,092	円	円
	そ ば	38	9,784.7	10,230,926	480,638		
	計	延 61	14,868.3	24,068,947	821,730	263,997	1,085,727
		実 60					

【引受の状況】

○大豆

栽培の中止により、組合員数は3人減少（対前年比88.5%）。面積は11.3ha減少した（対前年比81.8%）。

収入保険加入者の大豆作付面積は478haであるため、農業保険（収入保険+農業共済）の補償対象となる大豆は、全作付面積の87.3%であった。

○そば

収入保険への移行、栽培の中止により組合員数は7人減少（対前年比84.4%）。面積は13.7ha減少した（対前年比87.7%）。

収入保険加入者のそば作付面積は270.7haであるため、農業保険（収入保険+農業共済）の補償対象となるそばは、全作付面積の66.5%であった。

(被 害)

項目 畑作物区分	被害組合員数	共 済 金	共 済 金 共済金額
大 豆	人 16	円 5,255,915	% 37.98
そ ば	27	2,683,528	26.23
計	延 43	7,939,443	32.99
	実 42		

【被害の状況】

○大豆

6月下旬・7月上旬・8月下旬の大雨で土壌湿潤害が発生し、生育不良で草丈が短く、着莢低下を招き収量減少した。
梅雨明け以降、8月下旬まで降雨がなく、水不足による干害が発生し、生育不良により落花、落莢の増加により減収した。
収穫期前にイノシシ・サルが圃場に侵入し、踏み倒し被害や食害を受けて減収した。
ハスモンヨトウによる食害が発生した。また、カメムシ類による吸汁害が発生した。
対前年比、被害組合員数 123.1%、共済金 254.5%と大幅に増加した。

○そば

8月30日の大雨により圃場への浸水被害を受けて土壌が湿潤状態となったことで、生育不良に伴い、草丈が短く、着粒の低下を招いた結果、収量減少となった。
収穫期にサルやイノシシが圃場に侵入し、踏み倒しや食害を受けて収量が減少した。
対前年比、被害組合員数 207.7%、共済金 116.3%と大幅に増加した。

(支 払)

畑作物区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
			円	円	円	円	円	円	%
大 豆		3 月 28 日	5,255,915					0	100.0
そ ば			2,683,528					0	100.0
計			7,939,443	5,440,123	1,085,727	1,413,593	0	0	100.0

(損害防止)

・大豆の基幹防除（病害虫対策）として、9月10日から25日に紫斑病、ハスモンヨトウ、カメムシ類等を対象に無人ヘリコプターによる防除（散布面積 11.7ha）の取りまとめを行った。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 \ 項 目		組合員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)	
ガラス室	Ⅱ類	人 10	棟 27	m ² 10,309	円 129,588,752	円 96,632,684	円 23,619	円 18,178	円 41,797	
プラスチック ハウス	Ⅱ類	1,918	5,229	1,979,316	6,817,246,997	5,005,427,801	24,763,125	13,522,061	38,285,186	
	Ⅲ類	19	28	31,692	141,465,519	86,990,752	132,445	112,235	244,680	
	Ⅳ類	甲	14	18	18,289	175,232,018	135,734,590	117,885	90,538	208,423
		乙	21	40	50,258	475,380,433	369,802,264	318,219	161,211	479,430
	Ⅴ類	16	23	26,214	638,315,753	547,996,741	587,462	374,991	962,453	
	Ⅵ類	31	56	44,481	90,761,054	61,253,559	414,378	275,649	690,027	
	Ⅶ類	8	14	60,101	27,814,030	19,269,450	151,267	142,601	293,868	
計		2,037	5,435	2,220,660	8,495,804,556	6,323,107,841	26,508,400	14,697,464	41,205,864	

※引受変更に伴う還付支払金、交付金の修正を含む。

【引受の状況】

集団加入の協定締結による引受と個別推進の取り組みにより戸数と共済金額は前年実績を上回った。高齢化に伴う廃園により出雲支所のぶどうハウスが減少したため、引受棟数は前年実績を下回った。

前年対比増減

組合員数 59 人 103.0% 引受棟数 △36 棟 99.3% 共済金額 230,766 千円 103.8%

(被 害)

施設区分 項 目		被 害			損害の額	共 済 金					共 済 金 共済金額
		組 合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特定園 芸施設	附帯施設	施 設 内 農 作 物	復旧費用 撤去費用	合 計	
ガラス室	Ⅱ類	人 0	棟 0	基 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% 0.00
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ類	172	214	1	13,148,953	10,104,022	18,920	0	280,081	10,403,023	0.21
	Ⅲ類	5	5	0	268,103	201,610	0	0	0	201,610	0.23
	Ⅳ類	甲	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
		乙	2	2	0	436,516	203,405	0	0	203,405	0.06
	Ⅴ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	Ⅵ類	1	1	0	13,076	10,460	0	0	0	10,460	0.02
	Ⅶ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
計		180	222	1	13,866,648	10,519,497	18,920	0	280,081	10,818,498	0.17

【被害の状況】

低気圧の通過（4月9日、11月26日、12月8日、1月10日、2月7日）に伴う強風、竜巻、降雹（4月16日）、積雪（2月24日）により施設本体・被覆材に被害が生じた。大雨による土砂崩れ（7月10日）で本体に被害が発生した。

鳥やアナグマによるビニール被害のほか、火災、車両の衝突による被害が発生した。

＜内訳＞

	棟数	共済金	支払割合	
風 害	201 棟	7,016,198 円	64.9%	(特定園芸施設)
雪 害	5 棟	2,991,164 円	27.6%	(特定園芸施設)
雹 雷	9 棟	578,112 円	5.3%	(特定園芸施設)
火 災	2 棟	116,334 円	1.1%	(特定園芸施設)
凍 害	1 棟	18,920 円	0.2%	(附帯施設)
風 水 害	1 棟	14,644 円	0.1%	(特定園芸施設)
鳥 害	1 棟	14,796 円	0.1%	(特定園芸施設)
そ の 他	2 棟	68,330 円	0.6%	(特定園芸施設・車両の衝突)

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					<u>実支払共済金</u> 共 済 金
	保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円 10,818,498	円 1,652,636	円 9,165,862	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(損害防止)

- ・風害等の被害拡大防止対策事業として補修テープの配布を実施した。 693 個 499,306 円

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

(1) 農家建物

加入棟数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平均共済金額	任 意 保 険 料	保 険 手 数 料
		純共済掛金	賦 課 金			
棟	円	円	円	円	円	円
85,921	1,050,506,310,000	614,628,651	406,561,297	12,226,421	322,975,416	109,069,226

総共済掛金額 1,021,189,948 円、任意保険割合 地震以外 30% 地震 50%。保険手数料割合 火災共済 40.5% 総合共済 10.5%。

独自保険割合 地震等：前年度総合共済引受共済金額の 3.5%を超えた額の 50% 地震等を除く自然災害：前年度総合共済純共済掛金の 1,650%を超えた額の 60%。

【引受の状況】

火災共済は、中止・解約により共済金額が前年対比 216 億円減少した。一方、総合共済は、自然災害リスクへの懸念から共済金額が前年対比 2 億 8,390 万円増加した。火災、総合共済を合わせた共済金額は、前年対比伸長率 98.0%となった。

(事故関係)

(1) 農家建物

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等			
棟 475	円 1, 050, 506, 310, 000	円 235, 921, 882	円 70, 998, 170	円 89, 547, 552	% 0. 03	

【被害の状況】

火災事故は、前年対比 19 棟の減、支払共済金は 1, 723 万円増の 2 億 3, 592 万円となった。自然災害は、前年対比 82 棟の減、支払共済金は 2, 835 万円減の 3, 039 万円の支払いとなった。また、拡張担保事故は前年対比 179 棟の減、4, 061 万円の支払いとなった。

(2) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
火災	棟 25	円 /	円 235, 921, 882	円 68, 197, 690	% /	
落雷	155		28, 280, 979	8, 521, 042		
拡張担保（落雷除く）	130		12, 330, 673	3, 699, 168		
自然災害（地震除く）	164		30, 259, 018	9, 065, 902		
地震	1		127, 500	63, 750		
計	475	1, 050, 506, 310, 000	306, 920, 052	89, 547, 552	0. 03	

2 農機具損害共済
(引受関係)

加入台数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台 当 たり 平均共済金額	備 考
		純共済掛金	賦 課 金		
台 11,098	円 21,788,790,000	円 111,785,986	円 26,435,562	円 1,963,308	

【引受の状況】

前年対比で台数 50 台の減、共済金額 4 億 2,043 万円増加した。加入物件の内訳は、トラクタ、田植機、コンバインなどの普通物件が 10,771 台、農用トラック 106 台、畜産用農機具 191 台、ドローン 30 台となった。

(事故関係)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等		
台 420	円 21,788,790,000	円 24,986,524	円 89,498,595	% 0.53	

【被害の状況】

事故台数は、前年対比 4 台減少し、支払共済金は 25 万円減の 1 億 1,449 万円となった。
機種別にはコンバイン 137 台 2,856 万円、トラクタ 115 台 2,131 万円で全体の 43.6%を支払った。

農機具損害共済原因別事故発生状況

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
火災・落雷	台 21	円 21,788,790,000	円 27,191,055	%	火災事故 13 台、落雷事故 8 台
自然災害	1		359,810		雪害 1 台
接触	221		31,777,568		接触事故 221 台
その他稼働中事故	177		55,156,686		主な事故は衝突 51 台、異物巻込 52 台 他
計	420	21,788,790,000	114,485,119	0.53	

3 保管中農産物補償共済
(引受関係)

加入件数	加入口数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 件 当 た り 平均共済金額	任 意 保 険 料
			純共済掛金	賦 課 金		
件 2	口 12	円 12,000,000	円 21,000	円 9,000	円 6,000,000	円 22,344

総共済掛金額 30,000 円、任意保険割合 100%

【引受の状況】

1 件の新規加入があった。

(事故関係)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任 意 保 険 金	被害率 (ロ)／(イ)	備 考
		火 災	風水害等			
棟 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% -	

【被害の状況】

被害なし

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
			純 共 済 掛 金		賦 課 金
			損 害 部 分	減 価 部 分	
台 65	円 159,680,000	円 151,030,000	円 869,837	円 19,644,234	円 565,900

【引受の状況】

新規加入が 5 台、満期 6 台で、加入台数は前年対比 1 台減り 65 台となった。保有高は前年対比 38 万円増の 1 億 5,968 万円となった。

(事 故)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金		被害率 (ロ)／(イ)
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了によるもの	
台 7	台 6	円 159,680,000	円 579,134	円 9,620,000	% 0.36

【被害の状況】

事故台数は 7 台で、共済金は前年対比 53 万円減の 579,134 円となった。事故機種は、コンバイン、トラクタ、田植機などであった。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

目標	実績	基準収入金額
経営体 1,299	経営体 1,235	円 11,743,140,632

【状況】

前年度と比較して 27 経営体の増となった。（東部支所 16 経営体、出雲支所△4 経営体、石見支所 13 経営体、石西支所 2 経営体）
目標達成率は 95.1%（東部支所 93.2%、出雲支所 94.4%、石見支所 97.8%、石西支所 95.7%）

(支 払)

保険年度	加入	支払	特約補てん金	保険金	合計
令和 5 年	経営体 1,208	経営体 283	円 100,556,195	円 79,042,176	円 179,598,371

【状況】

保険金等(特約補てん金及び保険金)の支所別支払経営体数は、東部支所 59 経営体(対加入者 25.4%)、出雲支所 115 経営体(対加入者 20.4%)、石見支所 64 経営体（対加入者 24.7%）、石西支所 45 経営体（対加入者 29.2%）となっている。

(9) 業務関係

ア 重要な処理事項

年 月 日	開 催 し た 主 た る 協 議 事 項		
自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日	役員会	1回	第1回役員会（於島根県農業共済組合本所会議室）正副組合長の互選、代表監事の互選について協議を行った。（令和6年7月1日）
	理事会	7回	第1回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）第7回通常総代会提出議案について外20議案について協議を行った。（令和6年6月4日） 第2回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）役員、顧問並びに各委員の報酬額について外1議案について協議を行った。（令和6年7月1日） 第3回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）樹体共済（ぶどう）当初評価高について外2議案について協議を行った。（令和6年8月2日） 第4回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）麦共済当初評価高について外1議案について協議を行った。（令和6年9月11日） 第5回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済（半相殺方式）当初評価高について外7議案について協議を行った。（令和6年12月6日） 第6回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）水稻共済（全相殺方式）当初評価高について外5議案について協議を行った。（令和7年2月4日） 第7回理事会（於島根県農業共済組合本所会議室）大豆共済当初評価高について外26議案について協議を行った。（令和7年3月13日）
	理事会小委員会	5回	総務関係小委員会を5回、事業関係小委員会を5回開催し、役員定数・執行体制についてなどの検討を行った。（令和6年6月4日）（令和6年8月2日）（令和6年11月6日）（令和7年2月4日）（令和7年3月5日[事業]）（令和7年3月13日[総務]）
	監事会	5回	第1回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）定時監査(決算監査)理事会報告事項について外2議案について協議を行った。（令和6年5月29日）

	監事による監査 総代会 県庁常例検査	第2回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）臨時監査（家畜診療所）計画について協議を行った。（令和6年7月1日） 第3回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）臨時監査（家畜診療所監査）理事会報告事項について外1議案について協議を行った。（令和6年8月27日） 第4回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）定時監査（中間監査）理事会報告事項について外1議案について協議を行った。（令和6年11月7日） 第5回監事会（於島根県農業共済組合本所会議室）臨時監査（経理監査）理事会報告事項について外3議案について協議を行った。（令和7年2月27日） 4回 第1回定時（決算）監査（令和6年5月21日、23日、24日、27日、29日） 第2回定時（中間）監査（令和6年10月21日、22日、28日、29日、11月7日） 臨時（家畜診療所）監査（令和6年8月7日、8日、9日、19日、21日、27日） 臨時（本所・支所）監査（令和7年1月16日、17日、23日、24日） 2回 第7回通常総代会（於ラピタ ウェディングパレス 鳳凰の間）提出議案を原案通り承認議決した。（令和6年6月20日） 第12回臨時総代会（於島根県農業共済組合本所会議室）提出議案を原案通り承認議決した。（令和7年3月24日） 島根県農林水産部農林水産総務課の検査を受けた。 石西支所（令和6年7月16日～18日） 石西家畜診療所（令和6年7月19日） 雲南事務所（令和6年10月8日～9日） 雲南家畜診療所（令和6年10月10日） 本所及び出雲支所（令和6年11月18日～22日）
--	---	--

	コンプライアンス改善委員会	2 回	令和 6 年度コンプライアンス・プログラムの達成状況について、内部監査（自主検査）チェックリストの見直しについて、口座振替の移行状況について協議を行った。（令和 6 年 8 月 22 日）
	コンプライアンス研修会	6 回	リスク管理について、令和 7 年度コンプライアンス・プログラム（案）について、内部監査（自主検査）チェックリストの見直しについて協議を行った。（令和 7 年 2 月 25 日）
	余裕金運用管理委員会	4 回	コンプライアンスに係る役職員研修を行った。（令和 6 年 4 月 11 日～12 日・令和 6 年 6 月 6 日「新規採用職員研修会」、令和 6 年 7 月 4 日～18 日「職員能力向上研修会」、令和 6 年 8 月 2 日「理事・監事研修会」、令和 6 年 11 月 25 日～26 日「職員人権・同和問題に関する研修会」、令和 7 年 1 月 15 日～22 日「役職員ハラスメント研修会」）
	損害評価会		安定・確実な利息収入を確保するために協議を行った。（令和 6 年 5 月 15 日、7 月 22 日、11 月 19 日、令和 7 年 2 月 17 日） 損害評価会（全体会）1 回、水稻共済部会 3 回、麦共済部会 1 回、家畜共済部会 1 回、ぶどう共済部会 1 回、かき共済部会 1 回、くり共済部会 1 回、大豆共済部会 1 回、そば共済部会 1 回、任意共済部会 1 回を開催し、損害評価に関する事項等の協議並びに評価高認定を行った。

イ 総代会

(ア) 第7回通常総代会（令和6年6月20日）

総代会日現在総代数（A）	203人	出席率
本人出席（B）	99人	(B) / (A) 48.8%
代理出席	0人	
書面出席	85人	
出席者計（C）	184人	(C) / (A) 90.6%

重要な議事及び議決事項

1. 令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案について
2. 令和6年度事業計画設定について
3. 令和6年度事務費賦課額並びに徴収方法について
4. 令和6年度役員、顧問並びに各委員の報酬額について
5. 令和6年度借入金最高限度額等の決定について
6. 令和6年度余裕金預入先の決定について
7. 令和6年度農作物共済特別積立金の取り崩し実施について
8. 役員の選任について
9. 損害評価会委員の選任について
10. 家畜診療所運営審議会委員の委嘱について

附帯決議

(イ) 第12回臨時総代会（令和7年3月24日）

総代会日現在総代数（A）	203人	出席率
本人出席（B）	16人	(B) / (A) 7.9%
代理出席	0人	
書面出席	157人	
出席者計（C）	173人	(C) / (A) 85.2%

重要な議事及び議決事項

1. 令和6年度事業計画設定(業務収支予算書)の変更について
2. 島根県農業共済組合事業規程の一部変更について
3. 果樹共済(ぶどう)掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
4. 果樹共済(かき)掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
5. 果樹共済(くり)掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
6. 畑作物共済(大豆)掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
7. 畑作物共済(そば)掛金標準率の改定及び危険段階別共済掛金率の設定について
8. 建物共済掛金率等の一部変更及び設定について
9. 建物共済事務費賦課単価の一部変更及び設定について

附帯決議

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減	摘 要
4 8, 4 3 8 人	4 7, 3 7 7 人	△ 1, 0 6 1 人	

エ 役職員数その他

(ア) 役員 ー令和 7 年 3 月 31 日現在ー

理 事			監 事			計
常 勤	非常勤	計	常 勤	非常勤	計	
0 人	1 7 人	1 7 人	0 人	3 人	3 人	2 0 人

(イ) 職員 ー令和 7 年 3 月 31 日現在ー

①本所／出雲支所

性 別 \ 事 項	参 事 人	支 所 長 人	内 部 監 査 室 人	総 務 課 人	企 画 情 報 課 人	農 産 課 人	家 畜 課 人
男	1	1		6	4	7	6
女			2	4			1
計	1	1	2	1 0	4	7	7
性 別 \ 事 項	建物農機具課 人	収 入 保 険 課 人	小 計 人	雲 南 事 務 所 人	仁多郡事務所 人	合 計 人	
男	3	4	3 2	9	1	4 2	
女	3	2	1 2	1	1	1 4	
計	6	6	4 4	1 0	2	5 6	

※上記職員数には、内部監査室；嘱託(女) 1 人、総務課；嘱託(女) 2 人、臨時(男) 1 人、パートタイム(女) 1 人、企画情報課；臨時(男) 1 人、農産課；嘱託(男) 1 人、臨時(男) 1 人、建物農機具課；嘱託(女) 1 人、収入保険課；嘱託(男) 1 人、嘱託 (女) 1 人
雲南事務所；嘱託(女) 1 人、嘱託(男) 2 人、臨時(男) 2 人、仁多郡事務所；嘱託(女) 1 人、パートタイム(男) 1 人を含む。

②東部支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	隠 岐 事 務 所 人	合 計 人	備 考
男	1	1	8	6	2	18	
女		1	1	1		3	
計	1	2	9	7	2	21	

※上記職員数には、総務課；嘱託(男) 1 人、農産課；嘱託(男) 1 人、家畜建物課；嘱託(男) 2 人、嘱託(女) 1 人を含む。

③石見支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	邑 智 事 務 所 人	浜 田 事 務 所 人	合 計 人
男	1		4	3	5	4	17
女		2	1	3	1	1	8
計	1	2	5	6	6	5	25

※上記職員数には、総務課；嘱託(女) 1 人、農産課；嘱託(女) 1 人、家畜建物課；嘱託(女) 2 人、邑智事務所；嘱託 (女) 1 人、浜田事務所；嘱託(女) 1 人、臨時(男) 1 人を含む。

④石西支所

性 別 \ 事 項	支 所 長 人	総 務 課 人	農 産 課 人	家 畜 建 物 課 人	合 計 人	備 考
男	1	2	5	3	11	
女		1	1	2	4	
計	1	3	6	5	15	

※上記職員数には、総務課；嘱託(男) 1 人、パートタイム(女) 1 人、農産課；嘱託(女) 1 人、臨時(男) 1 人、家畜建物課；嘱託(女) 1 人を含む。

⑤家畜診療所／家畜臨床技術センター

性 別 \ 事 項		東 部 診 人	雲 南 診 人	出 雲 診 人	石 見 診 人	石 西 診 人	臨床技術センター 人	合 計 人
獣医師	男	2	3	1	2	1		9
	女	1	2	2	2		1	8
事務職	男							
	女	1	1	2	1		1	6
計		4	6	5	5	1	2	23

※上記獣医師数には、東部診；嘱託（男）1人、雲南診；嘱託（男）1人を含む。事務職員数には、東部診；嘱託(女)1人、雲南診；嘱託(女)1人、出雲診；嘱託(女)1人、石見診；嘱託(女)1人、臨床技術センター；臨時(女)1人を含む。

(ウ) 総代、NOSAI 部長（共済連絡員）、損害評価会委員、損害評価員

総 代	NOSAI 部 長	損害評価会委員	損 害 評 価 員
203人	4,302人	169人	1,646人